

■
【開催案内】日本学術会議公開シンポジウム
「欧州一般データ保護規則(GDPR)に対する日本の学術界の対応」
■

開催趣旨:

2018年から全面適用されている欧州データ保護規則(GDPR)は、EU域内から日本を含むEU域外に個人データを移転する場合の取扱いについて厳しい規制を課すとともに、一定の場合にはEU域内のデータ主体に関するEU域外でのデータ収集や利用にも適用される(域外適用)。その違反に対しては、高額
の制裁金を賦課される可能性がある。GDPRは企業のみならず、研究機関、学
協会などの非営利組織にも適用されるが、非営利組織向けの解説やマニュアル
はほとんど見かけない。そのため、国際的な研究活動や学術交流活動を行って
いる学術組織には、GDPRに対してどのように対応すればよいかについてとま
どいが見られる。このような状況の中で、GDPRの内容を正しく理解し、日本
の学術界としてどのように対応することが適切であるかについて、3人の専門
家をパネリストに、フロアからの質疑もまじえつつ、公開シンポジウムを開催
する。

- ◆主催: 日本学術会議法学委員会、法学委員会「IT社会と法」分科会
- ◆日時: 平成31年3月27日(水) 14:00~16:30
- ◆会場: 日本学術会議講堂
- ◆参加費: 無料
- ◆事前申し込み不要

(ポスターはこちらから↓

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/274-s-1-2.pdf>)

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局 第一部担当中島 03-3403-5706